



未来を創り、人をつくる、未来を担う若人たち

今回のアントレ・ラボ通信では、講師へのインタビューを掲載させて頂いております。

インタビューは、1月25日(水)15時より対面形式で開催予定の『1/25 現役大学生によるSDGsの本質を学ぶワークショップ』で講師を務めて頂きます。一般社団法人アクトポートの3人にインタビューさせて頂きました。

Q1: まずは3人が所属する一般社団法人アクトポートについて教えていただければと思います。

A1:
入江さん: アクトポートは、社会課題を解決するための行動の拠点となるため、港をイメージして、「アクトポート」という名前をつけました。

2022年7月に法人化をして、SDGsに関するワークショップなどのコンテンツ開発をはじめ、学校向けのワークショップや企業向けのワークショップの事業を展開しております。

Q2: もともと3人はどのように出会ったのでしょうか?

A2:
小室さん: 入江さんとは大学が同じであり、共に同い年で、留学に行った時に会いました。私も海外に行く中で、社会課題に対する問題意識をもって、入江さんの活動内容や理念に共感して一緒に活動をするようになりました。

常廣さん:
私は、入江さんが2018年に立ち上げた学生団体『50cm.』に参加する中で入江さんと出会いました。

『50cm.』は、「身の回り半径50cmから行動を」を指針としてSDGs達成に取り組む学生団体であり、その理念に共感したのが参加のきっかけです。

仲津:
3人もがそれぞれ違うフィールドで出会いつつ、その理念や方針に共感して今日があるということですね。

Next Seminar



Jan,25,2023

1/25 現役大学生によるSDGsの本質を学ぶワークショップ

SDGsの基本から、さらにSDGsと自社の創業理念や目的、自分の生きがいを重ね合わせながらSDGsを自分事化していくためのワークショップを行います。

ワークショップの進行を現役大学生たちが務めます。社会人が大学生を教えるという常識を超えて、共に学びあい、創り出す、共創の時代にふさわしい場になりたいと思います。

<https://qr.paps.jp/5NQsU>



Jan,26,2023

クイズで研修～仕事のアウトプットが変わる! 問う力を養え!～

今回は、これらのクイズ番組でクイズの問題を作成しているクイズ作家という日本で10人しかいない職業の方を講師に、クイズを使って物事の本質を『問う力』を養い、仕事におけるアウトプット、ひいては人生をもかえる普遍的な思考・考え方を養う研修の体験セミナーです。

詳細: <https://qr.paps.jp/Z2yUg>



Feb,27,2023

2/27 女性のためのジェンダーバイアス&自信創出研修体験オンラインセミナー

本セミナーは、ジェンダー・バイアスとリーダーシップの関係性や女性自身が持つバイアスと「自信のなさ」を複数の視点から探求し、ネガティブなバイアスを乗り越え、自信を高めるためにできることを体感して頂きます。

詳細はこちらです。

<https://qr.paps.jp/xOIEp>



アクトポートの皆さんは、本当に純粋で、かつ目的が明確にあるため、とても大学生とは思えないぐらいしっかりとしています。ぜひこれからも、彼らの活動を色々な面でサポートしていくことができればと考えております。

Q3: 社 SDG s などに興味を持ったきっかけは何でしょうか?

A3:
入江さん：子供の頃から、親と一緒によくアウトドアをしていて自然に触れていました。その中で自然が好きになり、野口健さんなどに憧れるうちに、自然と現在のよう活動をしていたというのが正直なところです。

小室さん：
私は小学校4年生の時にフィリピンでストリートチルドレンから花を送られた時に、その格差に違和感を覚え、国際問題に興味を持つようになったのがきっかけです。

常廣さん：
親戚が JICA で活動をしていて、海外の貧しい状況を知り、自分一人では何もできないことを痛感したので、入江さんのやっていた『50cm』に参加したのがきっかけで学校以外のコミュニティに参加することで SDG s に興味を持つようになりました。

Q4: 今回、1月25日(水)に ACT PORT の皆さんに講師というか、ファシリテーターをお願いしてワークショップを行います。特徴を教えてくださいませんか。

A4:
入江さん：
ACT PORT が行うワークショップの特徴は3つあります。

1つ目は教える、教わるの関係をなくし、同じ輪の中でフラットにワークショップを行うことで、共に学び合う場にすることが出来ればと思います。

2つ目はコンテンツの完成度の高さには自信があります。スライド1つ1つを作品だと思って作り込みをしています。

3つ目は作ったコンテンツは、自分たちだけのものにするのではなく、それをワークショップを受講された人が二次利用することで、より多くの人に使ってほしいと考えています。そういう意味で、使いやすいコンテンツにもなっています。

Q5: 最後にアントレ・ラボ通信の読者に対してメッセージをお願いします。

A5:
入江さん：
ACT PORT の設立コンセプトは、

「未来を創る人をつくる」

です。その趣旨がぶれることなく、私が作っていくコンテンツが人をつくり、それがこれからの未来を創ることにつながってゆけば良いと考えております。

仲津：
今回長時間にわたり、インタビューに応じて頂きましてありがとうございます。

これからの未来を創る3人が行うワークショップの詳細は以下にございます。

ACT PORT の活動に興味をお持ちでしたら、ぜひとも1月25日(水)のワークショップにご参加いただければと思います。詳細は以下にサイトにございます。

詳細：<https://qr.paps.jp/5NQsU>



Under Planning

採用プロセスで動画活用サービス

採用プロセスにおける中で、動画を使って企業理解を深め、さらに採用プロセスにおけるフォローや採用後の手続きなどを動画化することで、本来人事担当者が注力すべき仕事に集中することができるサービスをパートナー企業様と一緒に提案することを考えております。

また詳細はアントレ・ラボ通信でもご紹介する予定なので楽しみにしてください。



【コラム執筆】

人と人、人とコトの仲をつなぐ

仲津定宏

今回3人にインタビューをさせて頂くことで、3人の中にあるストーリーを理解することができてよかったです。

だからこそ、共感して、会社として、個人としても応援したくなる。色々な意味で勉強になりました。